



コンパス住吉台

Tel: 中学校 090-9148-1396 : 小学校 070-1287-8026

住吉台中学校区
学校支援地域本部だより
2021年度版
NO.1
令和3年6月22日発行



今年度もよろしくお願ひします



昨年度はコロナ禍の中で、活動には多くの制限がありました。例年通りに行うことができなかった活動もありましたが、学校とも協議し、授業の持ち方や活動の仕方を工夫し、延べ人数にして2326名の皆様にご協力をいただくことができました。大変ありがとうございました。ボランティアの皆様には検温や体調管理の徹底はもちろんのこと、密を避けるために授業回数・来校回数の調整、ズームによる活動をお願いするなど、例年にならぬご苦労をおかけいたしました。改めて皆様のご協力に感謝申し上げます。今年度も制約がある中での活動となりますが、コロナに負けず、工夫を凝らして学校と地域をつなぐお手伝いできればと存じます。下記に「コンパスの名前の由来」をご紹介します。今年度も引き続き皆様のご支援をよろしくお願ひいたします。

【コンパス住吉台の名前の由来】 ～2つの意味をこめました～

- ①ひとつは住吉台中学校の校木「モクレン」です。「モクレン」のつぼみは必ず北を向くことから別名「コンパスフラワー」と呼ばれています。学校と家庭と地域が常に子ども（北）のほうを向いているようにという願ひをこめました。
 - ②もう一つの意味は円を描く「コンパス」です。私たちは小学校と中学校と地域と家庭を円を描くようにつなげていきたいと思っています。
- ◆ロゴマークのピンクは「モクレン」・紫は「オオムラサキ」・緑は「泉ヶ岳」を表します。

スーパ-バイ- : 佐藤慶子(小学校) 長谷部順子(中学校) コーディネ-タ- : 宮地悠希江・松本美代子・庄子加奈子

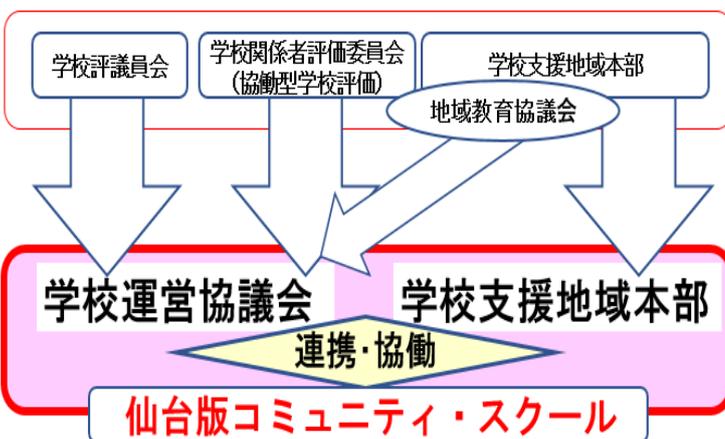


住吉台学校運営協議会



導入前

導入後



5月31日(月)に第1回『住吉台学校運営協議会』が開催されました。図のように既存の組織や会議を一体化し、『育む子ども像』について学校・家庭・地域がビジョンの共有を図ります。三者が互いの役割を理解・分担しながら、一体となって地域の子どもの成長に関わっていくことができる体制を作ります。令和5年4月にはすべての市立学校で導入することを目指しています。

住吉台では今年度、小中連携して『住吉台学校運営協議会』を立ち上げました。協議会委員は地域の団体の代表の方々、児童生徒の学習に携わっているの方々、PTA、小学校、中学校、学校支援地域本部等です。皆様のご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。



小学校



★ オオムラサキクラブ（幼虫カウント・観察会）★



4月9日(金)オオムラサキ会の方々の応援を得て、オオムラサキクラブの児童が越冬幼虫を数えました。密を避けるため、あらかじめエノキの根元の落ち葉をプランターに移して、グループに分かれてカウントしました。児童がカウントした数は151匹。そのすべてをオオムラサキ会の方にお問い合わせして泉ヶ岳のエノキの林に放しました。

6月初旬の3日間、休み時間にクラブ員が学年ごとに観察会を行いました。丸々と太った幼虫が3日の間にもどんどんサナギになっていきました。オオムラサキ会の方に見つけ方を教えていただき、サナギを見つけるたびに荷札に日付を入れてサナギのそばにつけます。こうすることで羽化するのに何日かかるかも観察できます。このお便りができるころには、きっと羽化したオオムラサキを観ることができることでしょう。



★ 5年生 米作り（しろかき・田植え）★

昨年度はコロナ禍、休校中に先生方が田植えを行いました。今年度は児童が田植えを行うことができました。5月18日(火)、田植えに先立ち、しろかきを行いました。最初は田んぼの土のぬるっとした感触に尻込みする児童もいましたが、慣れるにつれ、転ばないようにお互い助け合い、足で土をこねて田んぼを平らに整えていきました。

5月21日(金)いよいよ田植えです。住吉台は例年もち米の「みやこがね」を植えます。「6年生の卒業を祝う餅つき会」のためと、脱穀後のワラでお正月の「しめ飾り」をなうためです。児童は、萱場地区の奥山壽さんのご指導のもと、ひとり3株ずつ丁寧に田植えを行いました。



小学校・中学校のホームページから、「コンパス住吉台」をカラーでご覧いただくことができます。